

RE-

HUB-IBARAKI ART PROJECT

start
can
verse
sst
play
view
consider
flect

About HUB

History



2017

中島 実
《WM》



2018

稲垣 元則
《The Light》



2019

冬木 遼太郎
《突然の風景 (Sudden View)》



2020

永井 寿郎
《特別な場所 - FIXATIF 2020》



2021

黒田 健太
《今、ここで、立ち尽くすために》



2022

武田 力
《教科書カフェ》

トークイベント

場が元気で考える

新プロジェクト まもなく始動

Thinking about the place of the experiment

参加無料

2024

3/30

START 14:00 - SAT

「HUB-IBARAKI ART PROJECT」は、「継続的なアート事業によるまちづくり」を主題として毎年実施している大阪府茨木市のアートプロジェクトとして2013年に始動。茨木市に暮らす人々が、現代アート作品・アーティストとの交流を通して、アートの本質的な魅力である「表現の豊かさ／美しさ」を探求心に燃れて、その体験をそれぞれの日常の中へ還元していくことをめざしたアートプロジェクトです。

プロジェクトは、2008年から始まった「茨木市彫刻設置事業」までさかのぼり、ヤノケンジ、名和晃平など茨木にゆかりのある現代美術家の作品が、茨木市内の野外に恒久設置されました。2013年度から「HUB-IBARAKI ART COMPETITION」として現在の作家公募と長期間展示の形式にリニューアルし、2015年度からは作家を名に絞って実施しています。さらに2016年度からは「HUB-IBARAKI ART PROJECT」に名称を変更して、アートによる茨木のまちへの積極的な関わりを推奨する、アートプロジェクト色を強めた企画を展開してきました。

2024年度以降は、プロジェクトの実験の場を生み出し、将来的には茨木市に創造活動拠点を形成していくことを射程に入れた活動展開を計画していきます。

主催 | 公益財団法人茨木市文化振興財団

<https://hub-ibaraki-art.com/>

会場 | 茨木市市民総合センター [クリエイトセンター] 1階 喫茶・食堂



Thinking about the place of the experiment

開催日時 | 2024年3月30日(土) 14時-17時

会場 | 茨木市市民総合センター[クリエイティブセンター]1階 喫茶・食堂

参加料 | 無料 定員40名 (下記QRコードよりお申し込み下さい)

2024年度より、新ディレクターのもとリニューアルされるHUB-IBARAKI ART PROJECT。

トーク前半には、新ディレクターとなる内田千恵と、2019年から4年間チーフディレクターを務めた山中俊広氏との新旧ディレクター対談を行います。後半には、HUB-IBARAKI ART PROJECTのリニューアルに関わる雨森信を聞き手に、<アートセンターあきた>や<秋田市文化創造館>にて創造の場づくりに取り組む藤浩志氏を特別ゲストに迎え、アートやまちづくり、産官学連携のハブとして、実験的に展開されている活動事例をお話いただき、HUB-IBARAKI ART PROJECTのこれからに向けて新たな実験の場づくりについて考えます。

TALK EVENT

14:00 - ① ディレクター・パトナタッチトーク 「今までとこれから」

登壇者 山中俊広 HUB-IBARAKI ART PROJECT 2019-2022年度 チーフディレクター × 内田千恵 HUB-IBARAKI ART PROJECT 新ディレクター



山中俊広 ギャラリスト/キュレーター

1975年 大阪市生まれ、高槻市育ち。大阪府立大学経済学部卒業。大阪芸術大学大学院芸術文化研究科博士前期課程修了。ギャラリストの活動では、「YOD Gallery」ディレクター(2008-11年)を経て、2013年に大阪市此花区にコマースギャラリー「the three konohana」を開廊し、現在も代表・ディレクターとして活動している。2012年よりフリーランスでキュレーターの活動を始め、これまでの主な活動に「HUB-IBARAKI ART PROJECT」チーフディレクター(2019-22年)、「飛鳥アートヴィレッジ」プログラムコーディネーター(2013-19年)、「奈良・町家の芸術祭はならあと」アートディレクター(2014-15年)など、関西の複数の芸術祭・アートプロジェクトで全体統括を担当するディレクター職、「大阪アーツカウンシル」委員(2018-21年)などを経て、現在は2023年より「大阪芸術大学博物館」の学芸員に就いている。また、近畿大学文芸学部文化デザイン学科と大阪芸術大学芸術計画学科で非常勤講師として、それぞれアートマネジメントの科目を担当している。



内田千恵

1984年 大阪府生まれ。Art 7ten (アールセッテン) 運営・代表。大阪芸術大学卒業。ロンドンメトロポリタン大学院アートマネジメントコース修士課程(MA)修了。帰国後、コマースギャラリーで勤務(2011-2019)、展覧会企画や海外フェアを主に担当。フランスのアートシーンをリサーチするため現地に1年間滞在(2015-2016)、現地にて日本とフランス間の現代美術の交流発展を目的とした団体Art7tenを設立。2017年より奈良県に拠点を移し、キュレーション、アーティストマネジメント、翻訳等を中心に活動。環境問題やエコロジーに興味をもち、美術を通じた関わり合いを探っている。主な企画に「ある視点」(2016,2017)「わたしとせんと」(2017)、「そして、それは土となる」(2020)、「種を蒔く、それはすべてのはじまり」(2020)、「やがて、その芽は花となる」(2021)、「WUNDERKAMMER -森の思想-」(2022)「奈良・町家の芸術祭はならあと」のキュレーター(2020-2022)として展覧会企画及び「地球にやさしいエコジカルな芸術祭」のディレクションを担当。2024年より「HUB-IBARAKI ART PROJECT」の新ディレクターに就任。

15:30 - ② ゲスト・トーク 「秋田市文化創造館の場づくりの実験から学ぶ」

登壇者 藤浩志 美術家/秋田公立美術大学教授/秋田市文化創造館館長 聞き手 雨森信 Breaker Project ディレクター/インディペンデント・キュレーター



藤浩志 美術家/秋田公立美術大学教授/秋田市文化創造館館長

1960年 鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域社会をフィールドとした表現活動を志向し、京都情報社を設立。京都市内中心市街地や鴨川などを使った「アートネットワーク'83」の企画以来、全国各地のアートプロジェクトの現場で対話とデモンストレーションを重ねる。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初的表現と文化人類学に出会う。帰国後土地再開発業者・都市計画事務所勤務し土地と都市を学ぶ。92年九州に拠点を移し藤浩志企画制作室を設立。「地域資源・適性技術・協力関係」を活用し活動の連鎖を促すデモンストレーションを実践。主な作品として、取り壊された家の柱からつくられた「101匹のヤセ犬の散歩」。ヶ月分の給料からはじまった「お米のカルル物語」。家庭廃材を利用した地域活動「Vinyl Plastics Connection」「Kaeko」「Polyplanet Company」「Jurassic Plastic」。架空のキーパーソンをつくる「藤島八十郎をつくる」等。十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科・アーツ&ルーツ専攻教授。NPO法人アートセンターあきた理事長。秋田市文化創造館館長。NPO法人プラスアーツ副理事長。株式会社藤スタジオ代表取締役。



雨森信 Breaker Project ディレクター/インディペンデント・キュレーター

1969年 大阪府生まれ。京都市立芸術大学美術学部卒業後、設計事務所、ギャラリー勤務を経て、フリーランスのキュレーターとして活動。2002年NPO法人記録と表現とメディアのための組織 [remo] の立ち上げ、企画・運営に携わる。2003年には大阪市の文化事業として「Breaker Project」を開始、地域に根ざしたアートプロジェクトに取り組み、独自の表現手法を編み出すアーティストと共に新たな表現領域を開拓する。「水都大阪2009」、「BEPPU PROJECT2010」、「札幌国際芸術祭2017」、「さいたま国際芸術祭2020」にてキュレーションやマネジメントを担う。「国際芸術祭あいち2022」ではラーニングプログラムに参画するなど、さまざまなアートの実践を通して、現代における芸術文化の役割やアートマネジメントについて研究する。大阪公立大学都市科学・防災研究センター客員研究員。

EXCHANGE MEETING

17:00 - 交流会 トークイベント終了後の交流会では、登壇者と直接お話もできますので、併せてご参加ください。



トークイベント申し込みフォーム

問い合わせ先

公益財団法人茨木市文化振興財団

TEL : 072-625-3055 (10時-17時)

HP <https://hub-ibarakai-art.com/>

f Hub-Ibaraki @hubibarakai_art HubIbaraki HUB-IBARAKI ART PROJECT



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。



主催 | 公益財団法人茨木市文化振興財団



住所 | 〒567-0888 茨木市駅前4丁目6番16号
アクセス | JR茨木駅から東へ徒歩12分、阪急茨木市駅から西へ徒歩12分